



東島 毅 展「みずの自画像」

Tsuyoshi Higashijima: Water Self-Portraits

光や空気の流れから見えぬ何かを感知して、言葉では表意できない色彩を無からすくい出すように、自らの身体をバロメーターに絵画表現の可能性を追求し続けるペインター・東島毅(1960～)。

筆致の堆積に浮かぶ濃紺やシルバー、黒や赤紫といった色彩のテクスチャーが、表象と物質の間から湧き出るカオスのように立ち上がる。絵画の表面にやわらかな光の階調と陰影をまとうせ、水鏡のように光を吸引し、反射して見る者の意識を翻弄する。視界におさまらないほどの大きな絵画は、自然に溶け込み雨や雪をその肌で受けていく…。そうして、近年の東島の意識は自ずと外へ、より外へと向かう制作へと捧げられ、現実の中に独自の「絵画空間」を構築してきました。

そして今、東島は自分の内に立ち返る節目にきていると言います。アートコートギャラリーでは、東島のその照準とびたりと合わせ、自画像をテーマにペインティングを中心とする個展を開催いたします。《Untitled》(1988,右図)や、80年代後半から90年代前半の未発表作に最新作を織り交ぜ、東島の美の核に限りなく近付いた絵画空間の創出を試みます。



《Untitled》1988年、91 x 152.6 cm、アクリル、木炭、鉛筆、キャンバス

1988年より、ロータリー財団奨学生としてロイヤル・カレッジ・オブ・アートに在籍したロンドン時代。その渡英後すぐに描いたという《Untitled》(1988)は、シルバークレーの霞がかかる光に、青い人影、振りかざされた巨大な腕、粉塵をあげる黒い柱のような形から、さまざまな情景が想起される一枚です。「ここ(ロンドン)ではじめて本気で絵を描き始めたという実感」を持った東島にとって、《Untitled》は絵描きとしての最初の自画像として位置付けられる重要な作品です。また、NYに滞在した90～97年には、ジュリアン・シュナーベル(80年代ニューペインティングの旗手)のアシスタントを勤めながら、意欲的に画面をスケールアップさせ、クロスやタイルによるコラージュ、合成樹脂の分厚い皮膜を浮かべるなど、絵画の表面を意識した作品を次々と生み出していきました。

東島は、イメージをインスピレーションの沸くままに画面へと落とし込み、描いていくと言います。それは、イメージの形象を追うというよりも、描く過程の痕跡のレイヤーによって成り立つ絵画です。時間や場の環境を取り込み、黙々と画面へと向かい自身の美に執着する、ありのままの東島毅とは…。本展は、約30年に渡って続く制作テーマ「曖昧な美德 ambiguous virtue」をめぐる新たな序奏ともなることでしょう。どうぞご期待ください。

【展覧会概要】

展覧会タイトル：東島 毅 展「みずの自画像」

会 期：2014年10月4日[土]～10月25日[土] *日・月・祝 休廊

会 場：アートコートギャラリー [〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F]

開廊時間：11:00～19:00 (土は、11:00～17:00)

◆ 関連イベント ◆

10月10日(金)

18:30～20:00 … 鼎談 [保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究員) × 東島毅 × 柳澤顕(個展同時開催)]

20:00～21:00 … レセプション

*鼎談は要予約(E-mail: info@artcourtgallery.com または Tel. 06-6354-5444)。ともに、参加費無料。

主催：アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) | 協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー[八木・大場] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAP アートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449

E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com



ARTCOURT Gallery
Yagi Art Management, Inc.

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

1990-92年頃の未発表作品
72x51cm | アクリル、合成樹脂、他



東島 毅

Tsuyoshi Higashijima

1960 佐賀県生まれ

1986 筑波大学大学院修士課程芸術研究科美術(絵画)専攻修了

1988-90 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート 美術学部絵画専攻修士課程在籍

現在 岡山市在住

主な個展

- 2012 東島毅—そらのみず | 奈義町現代美術館ギャラリー (岡山)
東島毅—遮るものもないことについて—another | 上野の森美術館ギャラリー (東京)
- 2011 「企画: 袴田京太郎 世界と孤独」Vol.1 東島毅 展 | 東京日本橋高島屋6階美術画廊 X (東京)
東島毅—遮るものもないことについて | 海岸通ギャラリー CASO (大阪)
- 2010 東島毅—それぞれの方位の住人のために | 海岸通ギャラリー CASO (大阪)
- 2009 東島毅展—絵画 光を曲げる | INAX ギャラリー 2 (東京)
- 2008 東島毅展 | 第一生命南ギャラリー (東京) ['99, '97]
東島毅展 絵—PICTURE | 国際芸術センター青森 (青森)
- 2007 東島毅 展 Selected Works 1988-2006 | 岡山県立美術館 (岡山)
東島毅新作展 | アキラ イケダ ギャラリー 田浦 (神奈川)
- 2005 東島毅 ときどき きき眼を変えてみる | 海岸通ギャラリー CASO (大阪)
- 2000 近作展 25 東島毅 | 国立国際美術館 (大阪)
アート・ビジョン vol.5 東島毅展 | 成羽町美術館 (岡山)
- 1995 東島毅新作展 | アキラ イケダ ギャラリー (東京)

主なグループ展

- 2014 オオハラコンテンポラリー・アット・ムサビ | 武蔵野美術大学美術館 (東京)
東島毅+本田健展 冬のみず、山あるき | 岩手県立美術館 (岩手)
- 2013 オオハラコンテンポラリー | 大原美術館 (岡山)
- 2012 ドローイングレッシンズ | ギャラリー・オーブ (京都)
今村源・袴田京太郎・東島毅「Melting Zone」 | アートコートギャラリー (大阪)
- 2010 プライマリーフィールド II: 絵画の現在—七つの〈場〉との対話 | 神奈川県立近代美術館葉山 (神奈川)
野村和弘/東島毅 みることをかんがえる | いわき市立美術館 (福島)
- 2007 DOMANI・明日展 2007 | 損保ジャパン東郷青児美術館 (東京)
- 2006 アート in 福寿会館 | 福山市福寿会館 (広島)
VOCA に映し出された現在 いまいるところ/いまいるわたし | 宇都宮美術館 (栃木)
ながめのある部屋 | ギャラリー・オーブ (京都)
- 2002 Takahide Koike, Tsuyoshi Higashijima | アキラ イケダ ギャラリー・ベルリン (ドイツ)
- 2001 先立未来 | ルイジペッチ現代美術館 (イタリア)
- 2000 印象派と光の表現—モネ、ルノワールから現代へ | ふくやま美術館 (広島)
- 1996 現代美術の展望 VOCA 展 '96—新しい平面の作家たち | 上野の森美術館 (東京)
- 1995 視ることのアレゴリー 1995 絵画・彫刻の現在 第一期表層: 矛盾の包摂 | セゾン美術館 (東京)
水戸アニュアル '95 絵画考—器と物差し | 水戸芸術館現代美術ギャラリー (茨城)

【お問い合わせ】アートコートギャラリー[八木・大場] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAP アートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449

E-mail:info@artcourtgallery.com URL:www.artcourtgallery.com